

令和五年度 社会人特別選抜試験

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、表紙を含めて6ページあります。また解答用紙2枚と下書き用紙2枚が配付されています。
試験中に問題冊子や解答用紙、下書き用紙の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
(1) 受験番号欄
(2) 氏名欄
- 4 受験番号、氏名が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
- 5 設問の字数には句読点が含まれます。
- 6 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

本文は次の作品から抜粋・一部改変して作成しています。著作権処理の都合上、掲載する
とは出来ませんので、問題文と採点のポイントのみ記します。

(キム・スヒョン 著 吉川南 訳、『私は私のみままで生きることにした』、株式会社ワニブ
ックス、2019年より抜粋・一部改変)

問1 本文中の①③に入る言葉を本文からそれぞれ抜き出して書きなさい。

問2 本文のなかで健全な自尊心をもつために必要なこととして「自己有能感」と「自己尊重感」が挙げられている。これらについて、本文の言葉を用いてそれぞれ40字以内で説明しなさい。

問3 自尊心を持つためには、どのようなことを実践していくことが必要・大事であるのか、本文の言葉を用いて70字以内で書きなさい。

問4 韓国人の74・4%が、アイデンティティが4段階中の下から2番目の「早期完了」に当てはまっている。著者が考えるその理由・原因について、本文より解答につながる3つのキーワードを見つけ、それを含めてそれぞれ40字以内で3つの理由・原因を書きなさい。

問5 「自分らしい人生って？」のなかで、著者はどのようにすることが「自分らしく生きること」だと述べているか、本文を参考に40字以内で書きなさい。

問6 韓国と同じように日本でも「協調性」や「和」が強調される教育が行われてきた。この傾向は今なお続いているが、昨今日本でも多様性への理解が進み、個人の価値観や考えを尊重する環境が広がってはきている。しかし実際には、個人を尊重するあまり集団での協調性や和が保てなくなったり、逆に協調性を求めるあまり個人が我慢せざるを得ない状況があったりと、なかなかうまくいかないこともしばしばある。この集団などでの協調性と個人の尊重について、両立すると思うか、「両立しないと思うか」書きなさい。また、両立すると考えるなら両立させるためにはどのようなことが集団・個人の双方に必要なか、両立しないと考えるなら集団・個人の双方において何がその成立を阻害しているのか、自分の考えを400字以内で書きなさい。

問1 内容を理解し、本文より適切な言葉の選択・抽出ができるかを採点しています。

- ①自尊心 ②信頼 ③内面

問2 「自己有能感」と「自己尊重感」について、指定された文字数で説明できているかどうかを次の要素から採点しています。

- 「自己有能感」…①自分のことや自分の世話 ②自分の問題へ対処 ③自分への信頼・自信
- 「自己尊重感」…①自分を尊重する ②自分は愛される価値がある

問3 問の命題について、指定された文字数で説明できているかどうかを次の要素から採点しています。

- ①自分が信じる・尊重する内面の世界 ②自分の生き方を選択 ③行動
- ④責任を負う

問4 問の命題について、3つのキーワードを見つけ、それぞれについて指定された文字数で説明できているかどうかを採点しています。

キーワード…「危機の不在」「文化」「強い依存心」

問5 問の命題について、指定された文字数で説明できているかどうかを次の要素から採点しています。

- ①経験と模索、②自分の力で判断、③自分の力で決める方法、④自分への理解を土台、
- ⑤自分で判断、⑥決定、⑦生きること

問6 問の命題について、指定された文字数で説明することができるかを、次の観点から採点しています。

- ①自身の意見の記述
- ②個人の尊重の面からの意見の記述
- ③集団における協調性の面からの意見の記述
- ④文章力（構成、文法、語彙など）